

NY マーケットレポート (2014年9月25日)

NY 市場では、序盤に発表された米失業保険申請件数が予想より改善したものの、8月米耐久財受注が3ヵ月ぶりのマイナスとなり、下落率が1992年以降で最大となったことを受けて、ドルが主要通貨に対して売られた。そして、欧米の株価が大きく下落したことや、塩崎厚生労働相がGPIFについて、急がない旨の発言をしたことを受けて円が買われ、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。また、米長期債利回りが下落し、日米金利差縮小が意識されたことも円買いの要因となった。

2014/ 9/25 (木)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	109.34	109.38	109.02
EUR/JPY	139.03	139.70	139.03
GBP/JPY	178.29	178.51	177.84
AUD/JPY	96.26	96.95	96.08
EUR/USD	1.2717	1.2784	1.2716

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	109.36	109.20
EUR/JPY	139.13	138.83
GBP/JPY	178.33	177.91
AUD/JPY	96.40	96.18
EUR/USD	1.2737	1.2698

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	16374.14	+206.69
ハンセン指数	23768.13	-153.48
上海総合	2345.10	+1.53
韓国総合指数	2034.11	-1.53
豪ASX200	5382.17	+6.40
インドSENSEX指数	26468.36	-276.33
シンガポールST指数	3290.99	-1.82

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6639.71	-66.56
仏CAC40	4355.28	-58.44
独DAX	9510.01	-151.96
ST欧州600	341.44	-2.91
西IBEX35指数	10783.10	-73.80
伊FTSE MIB指数	20411.49	-279.55
南ア 全株指数	49503.55	-550.36

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	108.73	109.34	108.53
EUR/JPY	138.58	139.00	138.43
GBP/JPY	177.39	178.46	177.15
AUD/JPY	95.55	96.31	95.41
NZD/JPY	86.17	86.89	86.06
EUR/USD	1.2747	1.2765	1.2709
AUD/USD	0.8788	0.8826	0.8774

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	16945.80	-264.26
S&P500	1965.99	-32.31
NASDAQ	4466.75	-88.47
その他主要株	終値	前日比
🇨🇦 トロント総合	14893.57	-226.97
🇧🇷 ボルサ指数	44781.12	-335.82
🇨🇺 ポベスパ指数	55962.08	-862.34

9/26 経済指標スケジュール

08:01	【日】9月ホームトラック住宅価格
08:30	【日】9月消費者物価指数
14:00	【シンガポール】8月鉱工業生産
15:00	【独】10月GfK消費者信頼感調査
15:45	【仏】消費者信頼感指数
16:30	【スウェーデン】8月貿易収支
21:30	【米】2Q GDP
21:30	【米】2Q個人消費
22:00	【メキシコ】8月貿易収支
22:55	【米】9月ミシガン大学消費者信頼感指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1221.90	+2.40
NY 原油	92.53	-0.27
CMEコーン	326.00	-3.50
CBOT 大豆	922.75	-14.00

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.56%	0.59%
3年債	1.02%	1.07%
5年債	1.76%	1.80%
7年債	2.19%	2.26%
10年債	2.51%	2.57%
30年債	3.21%	3.28%

9/26 主要会議・講演・その他予定

--

(出所:SBILM)

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 109.27 ユーロ/円 138.95 ユーロ/ドル 1.2720

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6703.85	-2.42	ダウ INDEX FUTURE	17142	+3
仏 CAC40	4427.86	+14.14	S&P500 FUTURE	1990.50	-0.50
独 DAX	9706.06	+44.09	NASDAQ FUTURE	4085.25	-2.50

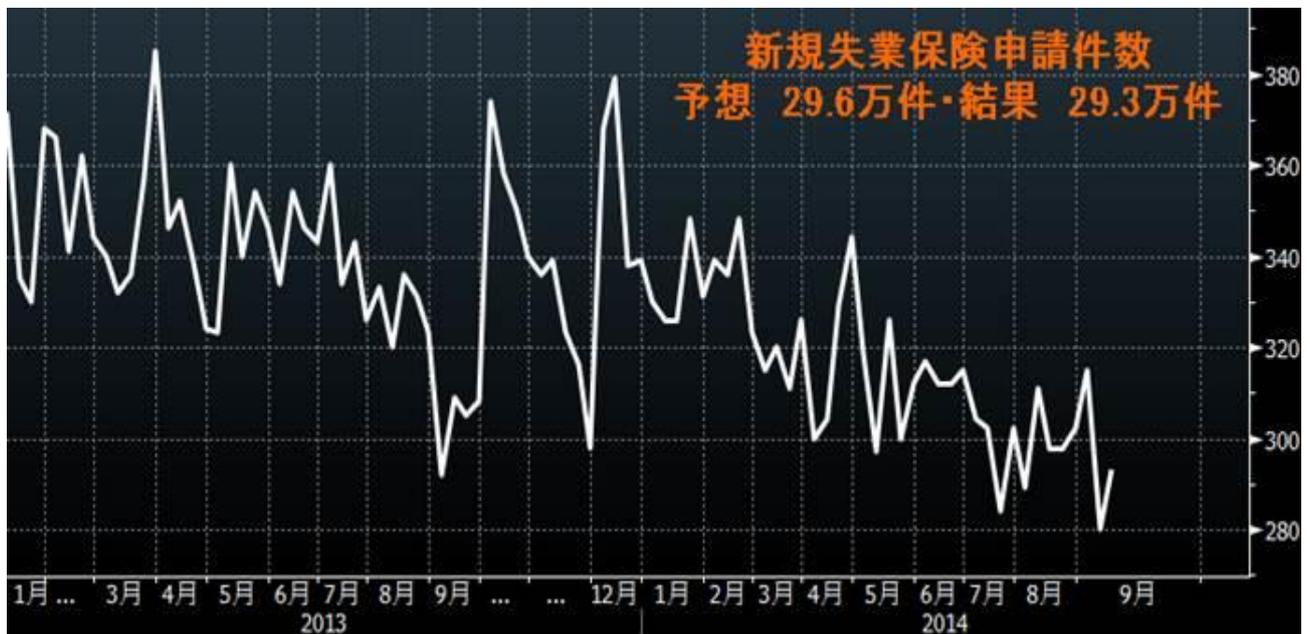
(出所:SBILM)

21:30

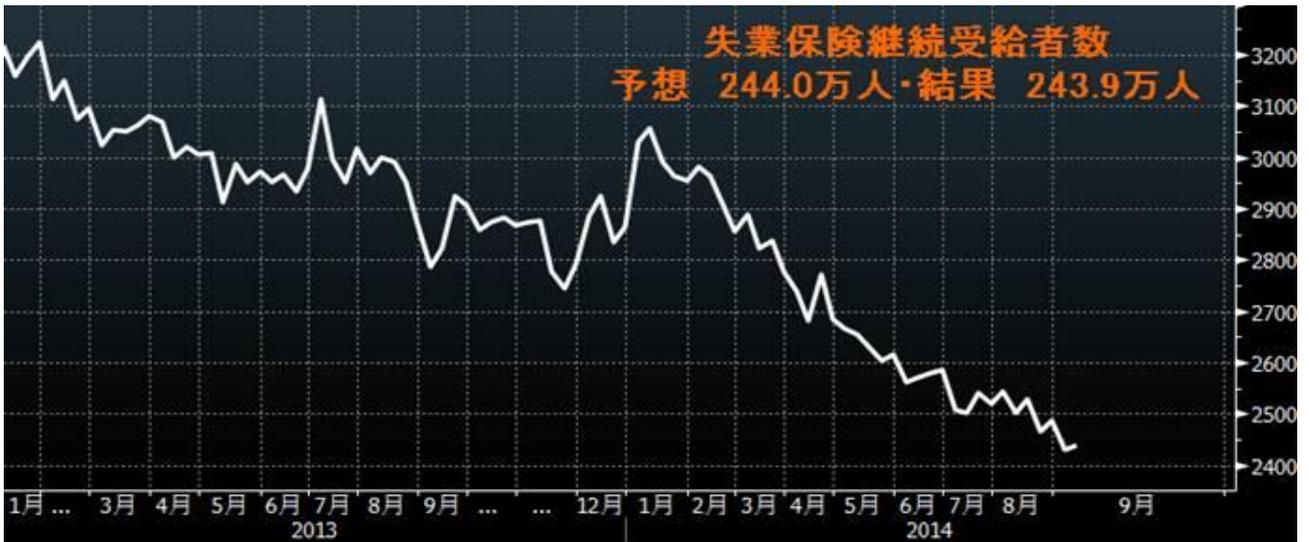
< 経済指標の結果 >

新規失業保険申請件数 29.3 万件 (予想 29.6 万件・前回 28.1 万件)
 前回発表の 28.0 万件から 28.1 万件に修正

失業保険継続受給者数 243.9 万人 (予想 244.0 万人・前回 243.2 万人)
 前回発表の 242.9 万人から 243.2 万人に修正



(出所:ブルームバーグ)



(出所:ブルームバーグ)

経済指標データ

《新規失業保険申請件数・継続受給者数》

申請件数・・・前週比・・・4週移動平均・・・受給者数・・・受給者比率

14/09/20	293,000	+12,000	299,500	2,439,000	1.8%
14/09/13	281,000	-35,000	299,750	2,439,000	1.8%
14/09/06	316,000	+12,000	304,250	2,432,000	1.8%
14/08/30	304,000	+6,000	303,250	2,492,000	1.9%
14/08/23	298,000	-1,000	299,750	2,478,000	1.9%
14/08/16	299,000	-13,000	301,000	2,528,000	1.9%
14/08/09	312,000	+22,000	296,000	2,502,000	1.9%
14/08/02	290,000	-13,000	293,750	2,549,000	1.9%
14/07/26	303,000	+24,000	297,500	2,519,000	1.9%
14/07/19	279,000	-24,000	300,750	2,542,000	1.9%
14/07/12	303,000	-2,000	309,250	2,508,000	1.9%
14/07/05	305,000	-11,000	312,000	2,508,000	1.9%

受給者数は集計が1週間遅れる

21:30

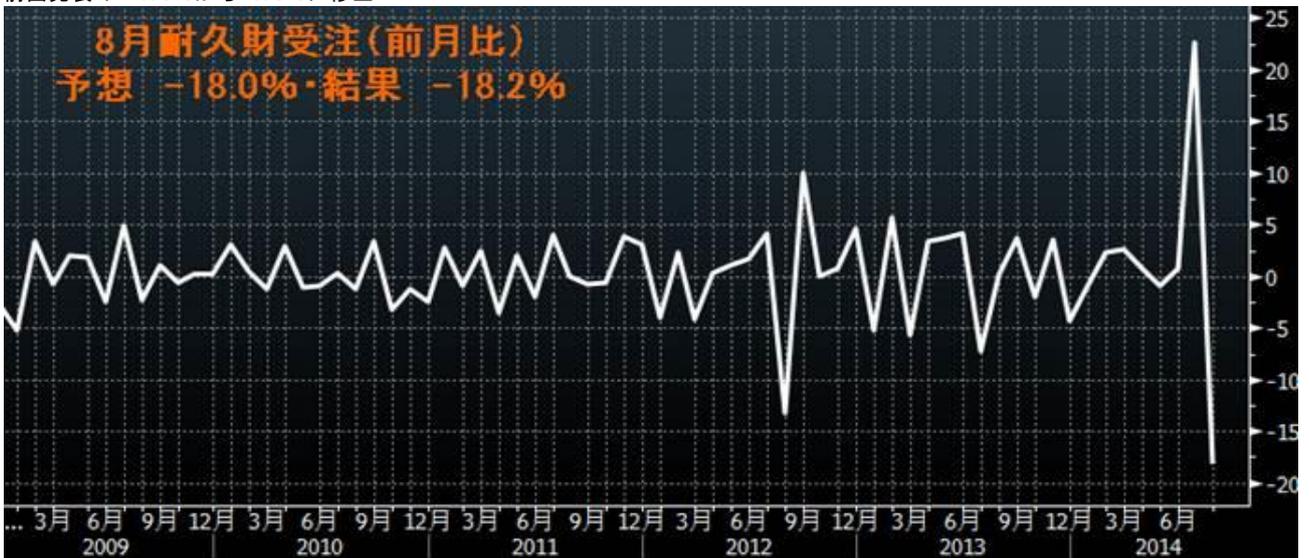
《経済指標の結果》

8月耐久財受注(前月比) -18.2% (予想 -18.0%・前回 22.5%)

前回発表の22.6%から22.5%に修正

8月耐久財受注[除輸送用機器] 0.7% (予想 0.6%・前回 -0.5%)

前回発表の-0.8%から-0.5%に修正



(出所:ブルームバーグ)



(出所:ブルームバーグ)

経済指標データ

《米耐久財受注》

	8月	7月	6月	5月	4月	3月
耐久財新規受注	-18.2	22.5	2.7	-0.9	0.9	3.7
輸送機器除く	0.7	-0.5	3.0	-0.1	0.4	3.0
国防関連除く	-19.0	24.9	2.7	0.2	-0.8	3.1
資本財	-33.9	52.4	5.1	-2.3	3.3	10.5
輸送機器	-42.0	73.3	2.2	-2.6	1.8	5.2
総受注残	0.6	5.3	1.0	0.7	0.9	0.8
総在庫	0.4	0.4	0.4	1.0	0.2	0.2
総出荷	-1.5	3.7	1.2	0.0	0.1	1.4

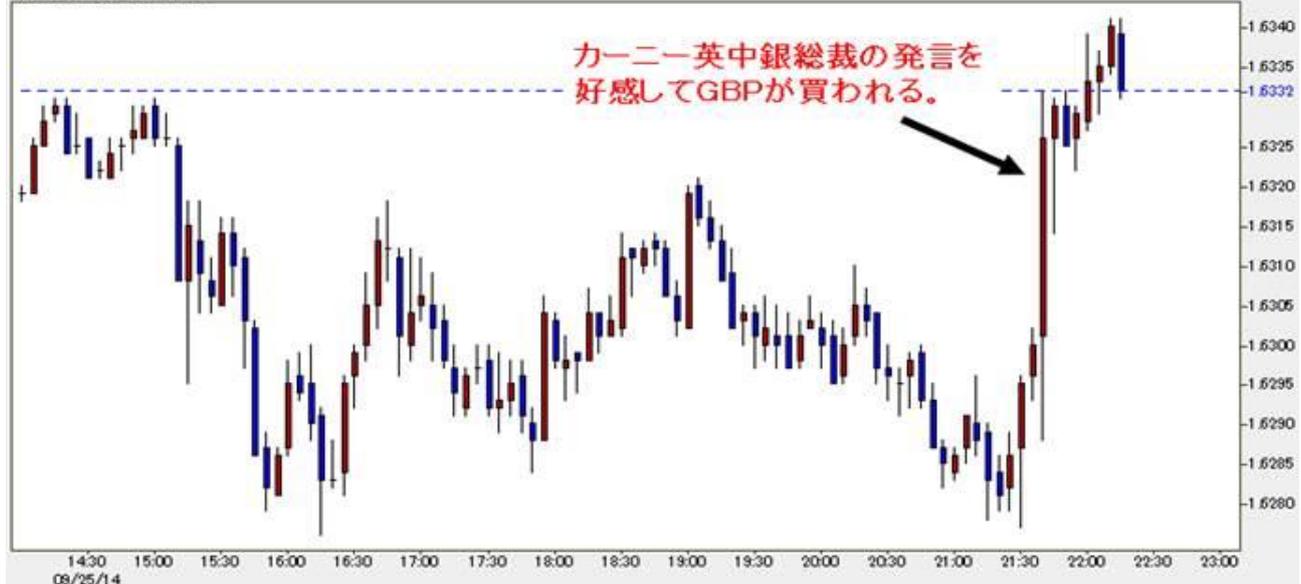
21:40

《要人発言》

カーニー英中銀総裁

- ・「利上げ時期は近づいている、英景気見通し大幅改善」
- ・「利上げは段階的かつ限定的になるだろう」
- ・「低金利があまりに長期続けば、リスク助長の恐れ」

ポンド=米ドル, 5分足, #100



(出所: ネットダニアー)

22 : 35

米主要株価

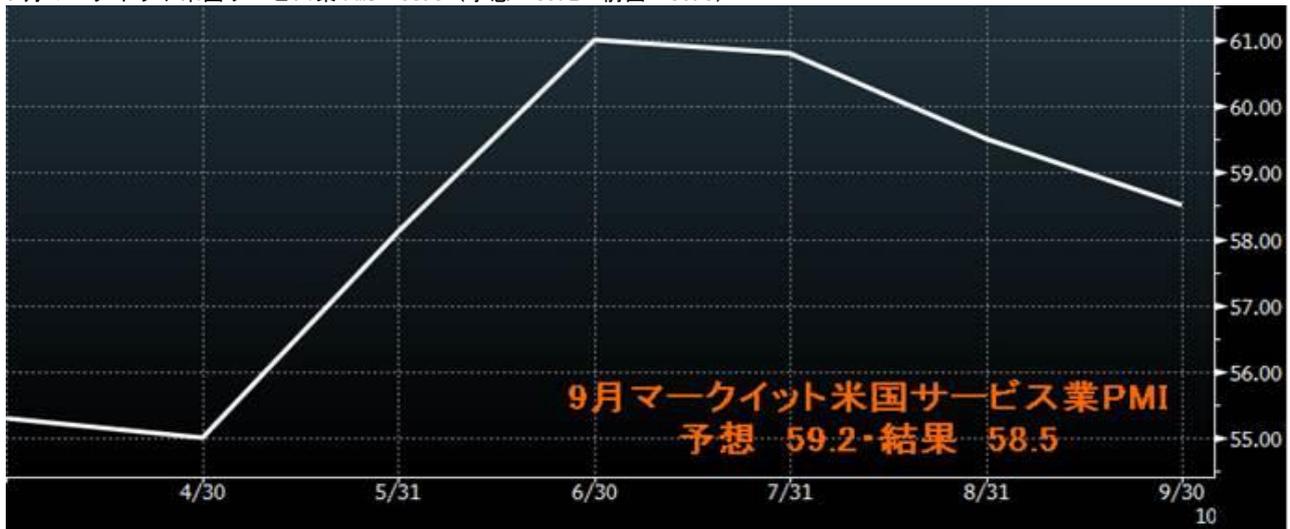
米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17166.84	-43.22
ナスダック	4543.03	-12.19

(出所:SBILM)

22 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

9月マーケット米国サービス業PMI 58.5 (予想 59.2・前回 59.5)



(出所:ブルームバーグ)

23 : 20

GPIF 改革法案「拙速でなく」と塩崎厚労相～読売

23 : 30

◀ NY 株式市場 序盤 ▶

序盤の株式市場は、8月の米耐久財受注が前月比で大きく落ち込むなどし、景気の先行きに対する楽観論が後退したことを受けて、主要株価は軟調な動きとなった。

0 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

9月カンザスシティ連銀製造業活動指数 6 (予想 6・前回 3)



(出所:ブルームバーグ)

《 経済指標のポイント 》

(1) 米失業保険申請件数は、前週比+1.2万件的 29.3万件となり、市場予想の 30万件を下回った。申請件数の 4週移動平均は、前週比-1250人の 29万 8500人となった。また、集計が 1週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比+0.7万人の 243.9万人。受給者数の 4週移動平均は、前週比-2万 2250人の 246万 250人となり、2007年 6月 9日までの週以来の低い水準となった。受給者比率は、前週から横ばいの 1.8%となった。

(2) 8月米耐久財受注は、前月比-18.2%の 2454億 3300万ドルとなり、3ヵ月ぶりに減少となった。下落率は比較可能な 1992年以降で最大となった。輸送機器の落ち込みが全体を押し下げた。7月に民間航空機が大きく増加した反動が出た。輸送機器を除いた受注は+0.7%となった。

①輸送機器は-42.0%と、これまでで最大の落ち込みとなった。変動の激しい民間航空機は-74.3%、自動車は 6.4%で 2013年 12月以来 8ヵ月ぶりの大きな下落率となった。また、国防関連の航空機は-0.6%だった。

②輸送機器以外では、一次金属が-0.7%、電機・家電は+3.1%、一般機械は+0.7%、電算機・電子製品は+1.7%となった。

③資本財は-33.9%、資本財から国防関連を除いた受注は-36.3%、国防関連は+5.4%。民間設備投資の先行指標となる非国防資本財から航空機を除いたコア受注は+0.6%。耐久財全体の出荷高は-1.5%、受注残高は+0.6%、在庫高は+0.4%となった。

0 : 45

イスラム国の戦闘員が米仏地下鉄への攻撃計画のもよう。

地下鉄攻撃の情報は、イラク国内でイスラム国メンバー拘束後入手～イラク首相

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6639.71	-66.56
仏 CAC40	4355.28	-58.44
独 DAX	9510.01	-151.96
ストック欧州 600 指数	341.44	-2.91
ユーロファースト 300 指数	1373.09	-12.68
スペイン IBEX35 指数	10783.10	-73.80
イタリア FTSE MIB 指数	20411.49	-279.55
南ア アフリカ全株指数	49503.55	-550.36

(出所:SBILM)

《 欧州株式市場 》

欧州株式市場は、米景気の先行き警戒感から米国株が大幅安で始まったことを受けて投資家がリスク回避姿勢を強めた。英国の利上げ観測も圧迫要因となった。



(出所:ブルームバーグ)

1:00

米主要株価・中盤

ダウ 16995.39 (-214.67)、 S&P500 1971.94 (-26.36)、 ナスダック 4481.76 (-73.46)

1:00

イスラム国が米地下鉄攻撃計画裏付ける証拠なし～米政府高官

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、8月の米耐久財受注が市場の予想以上に減少したことや、9月のマークイット米国サービス業PMIが前月から悪化したことをきっかけに米景気の回復期待が後退し、安全資産とされる米国債の逃避買いが先行した。

午前の利回りは、30年債が3.24%（前日3.28%）、10年債が2.52%（2.57%）、7年債が2.21%（2.26%）、5年債が1.77%（1.80%）、3年債が1.04%（1.06%）、2年債が0.57%（0.59%）。

《 欧州のポイント 》

①英財務省は、国際的な金利の指標であるロンドン銀行間取引金利（LIBOR）に関する新規制を、外国為替を含む他の金融取引の指標に適用するための協議を開始したと明らかにした。検討の対象にはロンドン時間午後4時に設定される外為指標レート「WM/ロイター」や、ロンドン市場での金・銀の指標価格（値決め）、ICEブレント原油先物指数、ポンド翌日物金利加重平均（SONIA）の指標が含まれる。協議についての最終報告は来年6月に予定されている。

②トルコ中銀は、主要政策金利の1週間レポレートを8.25%、翌日物貸出金利を11.25%、プライマリーディーラーの翌日物借入金利を10.75%、通常の翌日物借入金利を7.50%と、すべての主要政策金利を現行水準に据え置くことを決定した。トルコ中銀は、インフレ見通しが大幅に改善するまで引き締め策を維持すると表明。高インフレに対処すると同時に、米金融引き締め観測を受け高まっているリラに対する圧力にも対応する。

③ECBが発表した8月のユーロ圏マネーサプライM3伸び率は、前年比2.0%となり、前月の1.8%から加速した。家計向けと企業向け貸し出しは共に、28ヵ月連続の減少となった。民間向け貸し出しは-1.5%、減少率は前月の1.6%から縮小した。ECBは、期間4年の資金供給オペを実施、10月から資産担保証券（ABS）およびカバードボンドを買い入れると決めだが、これらの措置の効果はすぐには表れない見通し。

④カーニー英中銀総裁は、演説で、利上げ開始時期が近づいているとの認識を示した。ただ、実際の時期は経済指標次第とした。総裁は、国内の経済見通しが大幅に改善し、利上げは時間の問題に過ぎないと指摘した。時期が到来すれば利上げを段階的に行い、金融危機前の水準以下でピークに達すると見通した。総裁は「景気への逆風が止むまでしばらく時間がかかるだろう」と指摘。「主要輸出先市場の需要は引き続き抑えられている。公的部門のバランスシート修復は続いており、高債務を抱えた民間部門は金利の変化に対して、特に敏感になるだろう」と述べた。これらの問題が収束しても、世界的に生産性の伸びが鈍く、各金融機関は資本増強を求められるため、各中銀は金利を比較的低水準に維持する可能性があるとした。

2:00

《 米財務省 7 年債入札 》

最高落札利回り・・・2.235%（前回 2.045%）

最低落札利回り・・・2.117%（前回 1.950%）

最高利回り落札比率・・・61.20%（前回 0.36%）

応札倍率・・・2.48倍（前回 2.57倍）

3:20

NY金は、中心限月が前日比2.40ドル高の1オンス=1221.90ドルで取引を終了した。

3:55

《 要人発言 》

ロックハート・アトランタ連銀総裁～記者団に

- ・「ドル相場は、米輸出競争力の低下を懸念させる」
- ・「ドル高は長期化、もしくはさらに上昇の可能性」
- ・「『相当な期間』、もう少し長く使うのも悪くない」
- ・「FOMC金利予測、過剰に解釈する可能性ある」
- ・「どちらかと言えば利上げが遅れるリスクを選ぶ」

4:30

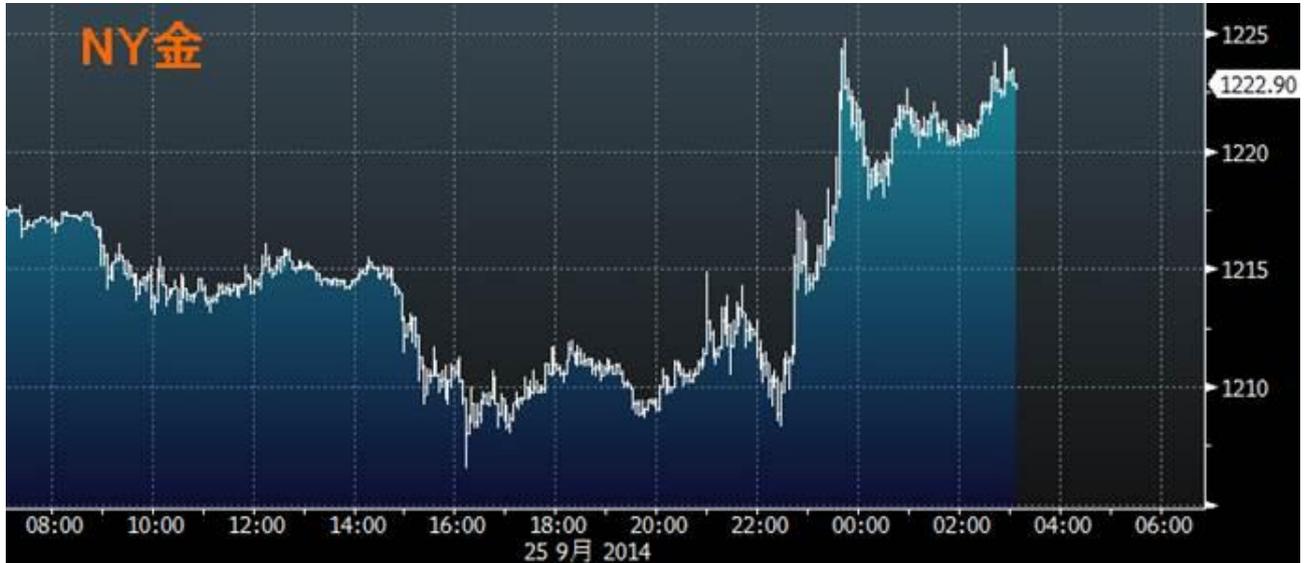
NY原油は、中心限月が前日比0.27ドル安の1バレル=92.53ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1221.90	+2.40
NY 原油	92.53	-0.27

（出所：SBILM）

≪ NY 金市場 ≫

NY 金は、米国株の急落を受けて投資家がリスク回避姿勢を強め、比較的安全な資産とされる金に資金を避難させる動きが優勢となった。また、ドルが円などに対して下落し、ドル建てに割安感が出たことも買い材料となった。



(出所:ブルームバーグ)

≪ NY 原油市場 ≫

NY 原油は、米国株の大幅下落を受けて投資リスクを回避する動きが広がり、売りが優勢となった。ただ、中東情勢緊迫による供給不安の可能性が引き続き懸念され、下げ幅は限定的となった。



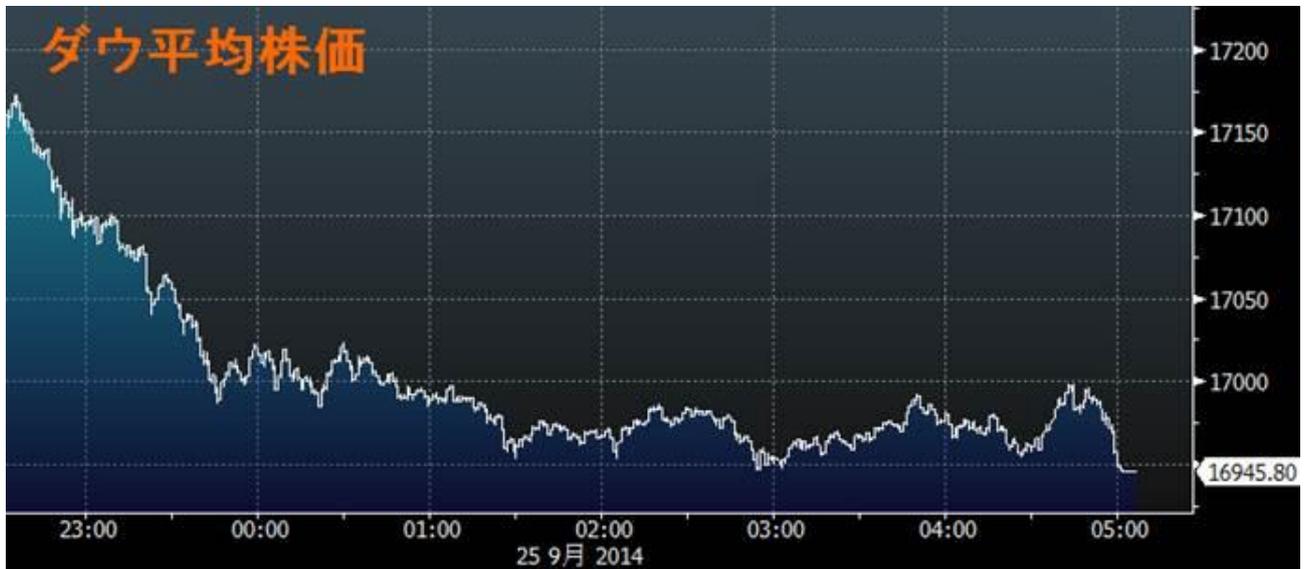
(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	16945.80	-264.26	17204.86	16945.80
S&P500 種	1965.99	-32.31	1997.32	1965.99
ナスダック	4466.75	-88.47	4546.93	4466.64

(出所:SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、8月の米耐久財受注が前月比で大きく落ち込んだことから、米景気の先行きに対する楽観論が後退したことを受けて、軟調な展開が始まった。そして、終盤まで軟調な展開が続き、主要株価軒並み大幅下落となった。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比で262ドル安まで下落する動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

《 注目株 》

始値 91.09 高値 91.50 安値 88.50 終値 88.92



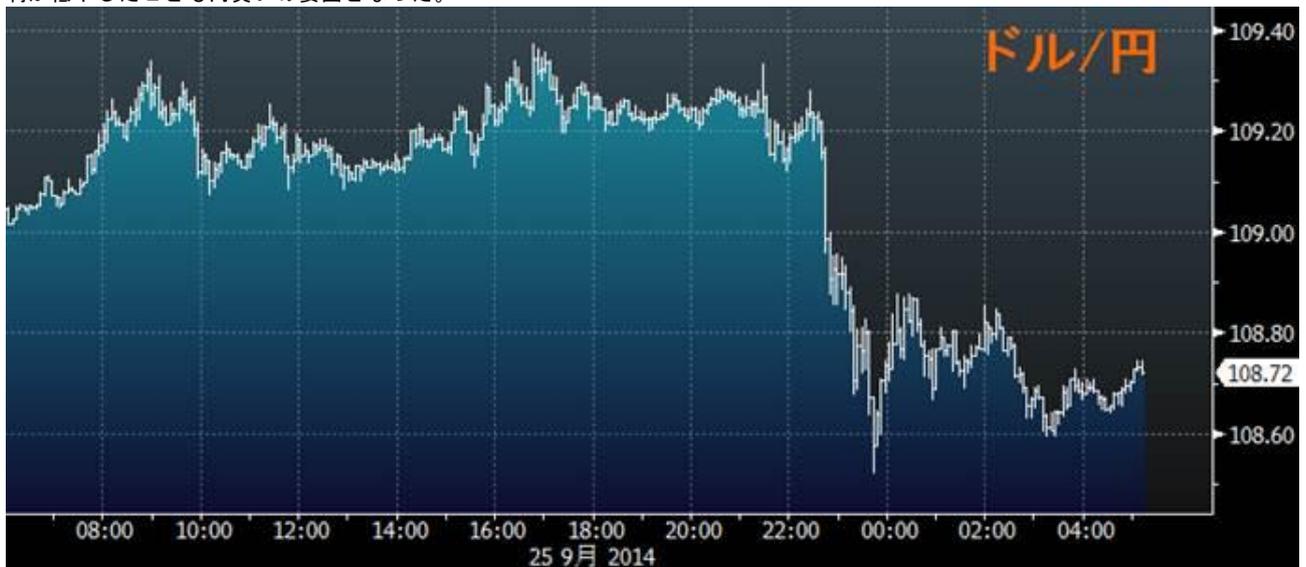
(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	108.73	109.34	108.53
EUR/JPY	138.58	139.00	138.43
GBP/JPY	177.39	178.46	177.15
AUD/JPY	95.55	96.31	95.41
NZD/JPY	86.17	86.89	86.06
EUR/USD	1.2747	1.2765	1.2709
AUD/USD	0.8788	0.8826	0.8774

(出所: SBILM)

〈外国為替市場〉

外国為替市場は、米耐久財受注が落ち込んだことや、欧米の株価が大きく下落したことを受けて、リスク回避円買いが優勢となり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。また、塩崎厚生労働相が GPIF について、急がないと発言したことや、米長期金利が低下したことも円買いの要因となった。



(出所: ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。